

## 令和4年度 美術科 授業改善推進プラン

大田区立志茂田中学校

### 1 昨年度の授業改善推進プランの検証

#### (1) 成果

- ・第2学年と第3学年は、昨年度に学習したことを活かして制作をしている。
- ・ICT機器の活用により、鑑賞の授業や実演などを一斉に指導することができている。
- ・積極的に授業に参加する生徒が多い。

#### (2) 課題

- ・計画的に制作を進めることが難しい。
- ・制作した作品について全体での鑑賞を行う時間がとれない。

### 2 分析（観点別）

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
第1学年	書体（レタリング）や色の特性、道具の使い方などの基礎知識をしっかりと身に付けて制作に取り入れている。	形や色彩などの工夫を考え、構想を練ったり鑑賞したりしている。	課題の意味や美しさなどに関心をもち、意欲的に授業に参加し、制作している生徒が多い。
第2学年	1年次で学習したことを制作に活かしている。装飾彫刻の違いを理解して制作している。	材料の特性や効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。	材料の特性や機能性などを生かして作ることに関心をもち、意欲的に取り組もうとしている。
第3学年	1、2年次で学習したことを制作に取り入れている。自分の表現に合った技法や画材を選び制作できている。	仏像彫刻やルネサンスの特徴や美しさ、美術文化の継承について鑑賞を行うことができている。 形や色彩などの工夫を考え、構想を練ったり鑑賞ができている。	美術の創造活動の意図を理解し、意欲的に授業に参加し制作している生徒が多い。

### 3 授業改善のポイント（観点別）

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
第1学年	筆や用具の使い方や色の知識などの、美術の基礎を定着させていく。イメージした物を形にするために、タブレットを補助的に活用する。	イメージマップで発想を広げ、さらに豊かな発想ができるように個別にサポートする。	生徒が意欲関心をもてるような課題を設定し、ICT機器の活用により視覚的に理解できるようにする。 分かりやすい授業を目指し、資料を作成する。

<p>第2学年</p>	<p>1年次に学習した内容を繰り返し復習させる。イメージした物を形にするために、タブレットを補助的に活用する。知識分野のテストは苦手な生徒が多いので、課題に合った資料を作成し活用する。</p>	<p>イメージマップで発想を広げ、さらに豊かな発想ができるように個別にサポートする。</p>	<p>生徒が意欲関心をもてるような課題を設定し、ICT機器の活用により視覚的に理解できるようにする。分かりやすい授業を目指すために資料を作成する。</p>
<p>第3学年</p>	<p>1、2年次で学習した内容を復習し、各課題で制作に取り入れる。イメージした物を形にするために、タブレットを補助的に活用する。知識分野のテストは苦手な生徒が多いので、課題に合った資料を作成し活用する。</p>	<p>イメージマップで発想を広げ、さらに豊かな発想ができるように個別にサポートする。</p>	<p>生徒が意欲関心をもてるような課題を設定し、ICT機器の活用により視覚的に理解できるようにする。分かりやすい授業を目指すために資料を作成する。</p>